

自立と共生をめざして

富良野 身体障害者 福祉協会



身 体障がい者の社会復帰や地位向上を目的に、富良野身体障害者福祉協会（井上和正会長）は設立されました。歴史は古く、設立以前から北海道身体障害者福祉協会富良野支部として活動していました。その後山部支部との統合により、富良野身体障害者福祉協会として独立し現在に至ります。

会員の中心は身体障がい者の方々と、お互いに手を



▲12月の障害者週間に行われた研修会の様子

取り合い身体障がい者の社会復帰、地位向上をめざしています。主な活動は、研修会や研修旅行で、学習や情報交換、会員同士の親睦を深めながら、社会参加へのきっかけづくりを行っています。

井上会長は、「お互いに障がいやを気にせず話せるし、障がいを持ったもの同士、共感できる部分があるんです。研修旅行は、年に一度のみんなの楽しみ。行き帰りのバスの中も話が絶えませんよ」と会の魅力を話します。また、公共施設建設の設計の際には、障がい者にとって使いやすい施設となっているか意見を求められるなどまちづくりにも一

役かっています。

会員は、60人ほどいますが、年々減少してきており、また大半が60歳以上と組織の高齢化が進行しています。

井上会長は、「障がい者の社会的地位や理解度は、昔と比べて格段に上がりました。昔は外に出るとジロツと見られているようで嫌でした。今は合唱団などのサークルに入ったり、町内会の役員をするメンバーもいて、障がい者の活動の幅は広がってきていると思います。ただ、まだまだ社会に出て来られない人たちがいるのも事実。その人たちのためにも活動を継続していく必要があります。活動を知らない人たちも多いため、まずは自分たちの活動をPRしていきたい」と話してくれました。

◆富良野身体障害者福祉協会では会員を募集しています。お話を聞いてみたいという方は井上和正会長（☎22・3948）にお問い合わせてください。

※身体障がい者だけでなく、心の病の方や、障がい者の家族の方など健常者の方も加入することができます。